

令和2年度 研究研修事業報告

1 教職員研修及び研究事業運営の基本方針

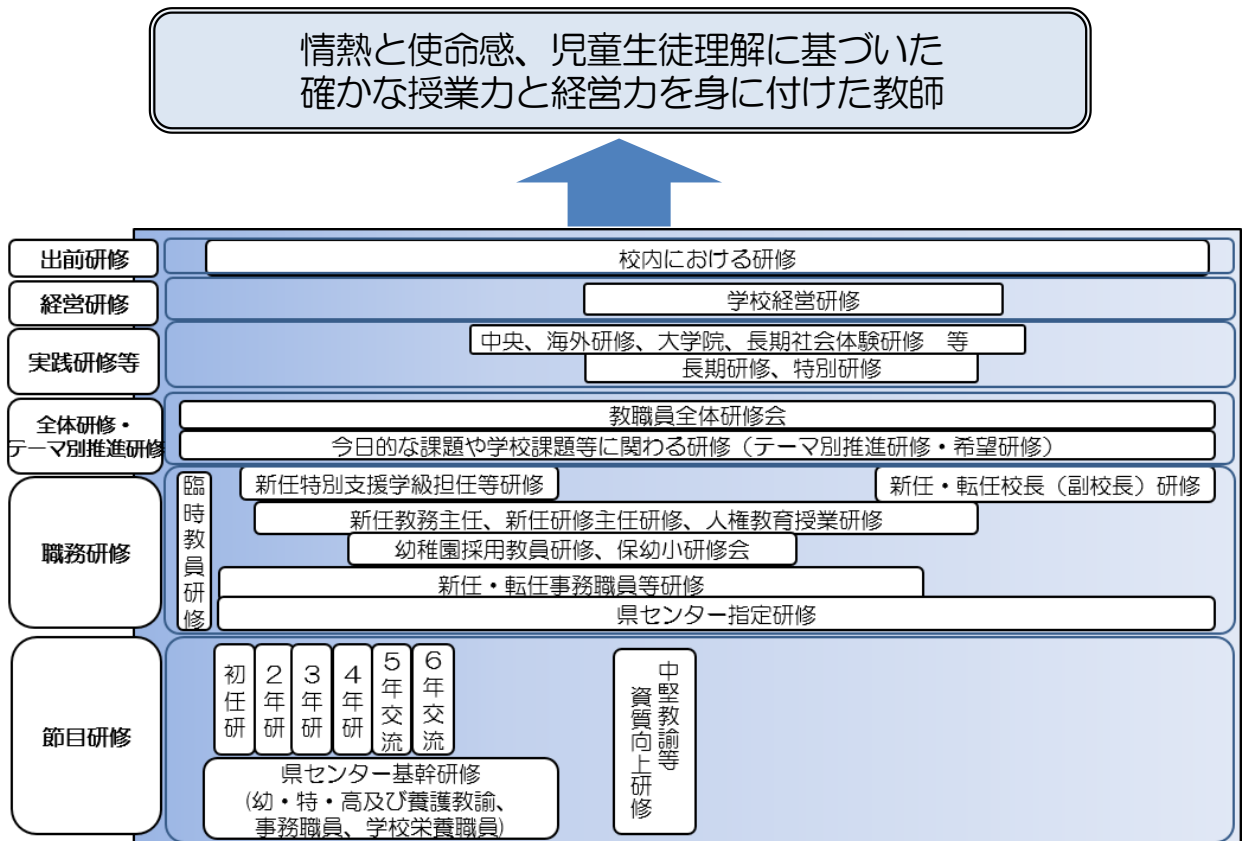
- 目指す教師像を「児童生徒理解に基づいた情熱と使命感、確かな授業力と経営力を身に付けた教師」とし、計画的な教職員の人材育成を目指す研修、研究を行う。
- 市教委内の各課・係や国、県の教育機関、大学等と連携し、それぞれが有する教育資源を活用しながら、事業の円滑かつ効果的な運営を行う。

2 教職員研修に関すること

(1) 基本的な考え方

学校文化の創造を支える「情熱と使命感、児童生徒理解に基づいた確かな授業力と経営力を身に付けた教師」の育成を目指し、実践的な指導力の向上を図るため、一人一人の経験や職務等の教職員のライフステージに応じた研修を実施する。

また、研修参加者の振り返りや市教委内の各係からの情報を基に、参加者の立場や時期等に応じた研修内容と参加型の研修方法の充実を図る。



教職員のライフステージに応じた教職員研修

(2) 具体的な講座の設定

グループ	小分類	研修名	実施回数 (参加人数)	令和2年度の取組 及び希望研修講師等
指定 研修	全体研修	○教職員全体研修	中止	
	節目研修	○小・中初任者研修 ○小・中2年経験者研修 ○小・中3年経験者研修 ○小・中4年経験者研修 ○小・中5年経験者交流会 ○小・中6年経験者交流会 ○中堅教諭等資質向上研修	10回(364人) 中止 2回(73人) 2回(59人) 1回(35人) 1回(27人) 中止	・初任者研修では、希望した学校において初任者の学校訪問を実施した。 ・紙面やりモートで実施した研修もあった。
	職務研修	○新任・転任校長(副校長)研修 ○新任教務主任研修 ○新任研修主任研修 ○新任・転任事務職員等研修 ○人権教育授業研修 ○臨時教員研修	1回(21人) 1回(13人) 1回(19人) 中止 1回(91人) 中止	・人権教育授業研修では、桃木小学校の資料を活用し、人権教育主任が各校・園において自己研修を行った。
	経営研修	○学校経営研修Ⅰ ○学校経営研修Ⅱ	1回(52人) 1回(69人)	
	テーマ別 推進研修	○小・中学校外国語授業力向上研修 ○小学校プログラミング教育に関する研修 ○中学校「考え、議論する道徳」の授業づくり研修 ○人権教育研修 ○教育相談研修 ○前橋長期研修・前橋特別研修 研究成果発表会(DVDによる研修)	1回(77人) 1回(46人) 中止 1回(71人) 中止 1回	
希望 研修	希望研修	○臨時教員研修(希望) ○つながる英語ひろば ○つながるICTひろば ○新任特別支援学級担任研修 ○小学校「考え、議論する道徳」の授業づくり研修 ○主体性を育む学級活動の授業づくり ○社会人としての接遇とコミュニケーション ○読み物資料を用いた授業づくり	18回(24人) 中止 中止 1回(38人) 3回(7人) 中止 中止 中止	文部科学省 阿部 恭子 教科調査官 TERU コミュニケーションステーション 渡辺 照子 主宰 群馬大学 久保 信行 客員教授

	<p>○一人一人を大切にする特別支援教育</p> <p>○いじめ防止対策推進法に則った 学校における取組</p> <p>○主体的・対話的で深い学びを実現する 指導の工夫</p> <p>○小・中学校の連携を意識した 外国語授業の在り方</p> <p>○一歩先の授業づくり～全国学力・学習状況 調査から考える授業改善（算数・数学）～</p> <p>○一歩先の授業づくり～全国学力・学習状況 調査から考える授業改善（国語）～</p> <p>○キャリア教育の理解と推進</p> <p>○学習指導の改善を目指す手立て ～指導と評価の一体化～</p>	<p>1回（38人）</p> <p>中止</p> <p>1回（32人）</p> <p>1回（77人）</p> <p>1回（48人）</p> <p>1回（45人）</p> <p>中止</p> <p>1回（41人）</p>	<p>明星大学 小貫 悟 教授</p> <p>群馬大学 吉田 浩之 副センター長</p> <p>群馬大学 佐藤 浩一 教授</p> <p>文部科学省 山田 誠志 教科調査官</p> <p>文部科学省 佐藤 寿仁 学力調査官</p> <p>文部科学省 伊坂 尚子 学力調査官</p> <p>文部科学省 長田 徹 生徒指導調査官</p> <p>総合初等教育研究所 北 俊夫 参与</p>
出前研修	<p>○授業づくりサポート</p> <p>○研修運営サポート (国語・社会・道徳・特別活動・人権 学習評価・授業改善等)</p>	18回（490人）	・校内研修のテーマに沿った授業づくりや研修運営サポートに関わる講義や演習、個別の相談

〔成果〕

- 指定研修において、ライフステージに応じて求められる資質・能力や、職務に応じて求められる能力の育成を図るため、授業力や経営力を高める研修をバランスよく実施することができた。
- 希望研修において、自ら学び続ける教職員の育成に向けて、今日的な教育課題や各々の専門性を高めるための研修を実施することができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大による状況の中で、Zoomによるリモート研修で研修講座を開催することができた。
- 各学校が、学校課題の解決に向けて自校の研修を充実させられるよう、指導主事が学校に出向き、研修支援を行った。

〔課題〕

- 学習指導要領等の理念に基づいて研修内容を見直すことやICT活用指導力の向上を目指した研修など、引き続き、必要な支援や方策等を具体的に探っていく必要がある。
- Zoomによるリモート研修で、講師側からの一方向での講義形式による研修方法については、確立することができたが、受講者とのやり取りを生かした双方向での研修方法については、さらに模索していく必要がある。
- 各研修講座において、受講者が主体的に学び、学校における取組の推進となるような研修内容や方法を工夫する必要がある。

3 教育研究員に関すること

(1) 前橋長期研修

研究領域	研究主題	研究員
特別活動	自己理解を深め、 「なりたい自分」に向けて取り組む児童の育成	前橋市立上川淵小学校 八木橋 友紀 教諭
国語科	国語科「読むこと」において、 自分の言葉で考えを表現できる児童の育成	前橋市立桂萱小学校 原田 秀美 教諭
理科	問題を見だし、主体的に問題解決に 取り組む児童を目指した小学校理科指導	前橋市立大利根小学校 恩田 憲弘 教諭

〈研究に関わる主な日程〉

〈学校経営に関する主な講義・演習〉

月 日	日 程	内 容
4月 1日	研究員命令書交付	[課題研修] ・まえばし学校教育充実指針の項目を中心とし、教育活動の概要を経営的に捉える。
6月 15日	主題検討会	[事例研修] ・学校危機管理など事例を基に、経営的視点から考える。
7月 31日	実践検討会Ⅰ	[伝える研修] ・校内分掌事項について、経営的視点から再構想し、実践を視野に入れた提案内容を考える。
8月 24日	実践検討会Ⅱ	[深める研修] ・研修内容から自己課題を選択し、学校における実施計画を作成する。
9月～ 11月	各置籍校での実践	[プラス研修] ・プラザ館内の職員の業務内容について聴き取りを行う。
12月 24日		
1月 15日	執筆検討会	
2月 4日	草案検討会	
3月 31日	推進研修（研究報告） 研修修了	

〔成果〕

○実践研究では、本市の教育課題と自己の課題に基づき、年間を通して研究に専念することができた。特別活動では「自己理解を図る学習活動とお互いのよさを認め合う活動を通して、自己のよさを生かし、目標を立てて主体的に活動できる児童を育成すること」について研究を行った。国語科では「『読むこと』の領域において、語彙指導の改善と振り返り活動の工夫を通して、自分の言葉で思考・判断・表現することができる児童を育成すること」について、研究を行った。理科では「導入における気付きや疑問を感じる場の設定と見通しをもつための支援を通して、主体的に問題解決に取り組む児童を育成すること」について研究を行った。

それぞれの研究について、発表内容のDVDや資料を各校に送付し、長期研修研究員の研究成果を市内に広く発信することができた。

○学校経営研修では、今日的な教育課題やまえばし学校教育充実指針等を題材とし、課題の的確な把握、情報の収集、実施計画の立案、提案などについて、実効性のある研修を実施することができた。

○群馬大学大学院の教授、准教授から直接の指導をいただく機会を得て、研究の方向性や検証の方法など、多くの学びがあった。また、高崎市長期研修と合同研修を行い、研究員同士の交流ができた。

〔課題〕

○研究員が、多くの経験を積みながら研究や研修に取り組めるよう、年間を通した体制づくりに努めた。本年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、変更をせざるを得ない研修等があった。他の教育機関と連携して研修の充実を図る必要がある。

(2) 前橋特別研修

研究領域	研究主題	研究員
総合的な学習の時間	課題解決に必要な方法や手順を自ら選択しながら追究できる児童の育成	前橋市立広瀬小学校 佐藤潤一 教諭
教育の情報化	プログラミング教育の推進を目指した情報主任の取組	前橋市立上川淵小学校 中山雄太 教諭
社会科	小学校社会科において、根拠を基にして自分の考えを表現できる児童の育成	前橋市立大利根小学校 春山萌 教諭
数学科	数学的な見方・考え方を豊かにする生徒の育成	前橋市立第五中学校 松田圭史 教諭
生徒指導	生徒理解に根ざした生徒指導の充実に向けた生徒指導主事としての役割	前橋市立大胡中学校 小野里聡 教諭

〈研究に関わる主な日程〉

〈学校経営に関する主な講義・演習〉

月 日	日 程	内 容
5月14日	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・学校組織を活かす中堅教員の役割 ・特別支援教育 ・事例研修 ・学校組織マネジメント ・学校づくりと学校評価 ・いじめ防止と自殺予防に関する理解 ・キャリア教育の在り方 <p style="text-align: right;">等</p>
6月18日	主題検討会	
8月20日	実践検討会	
10月1日 ～	実践授業研究会	
10月22日		
12月17日	草案検討会	
2月4日	推進研修(研究報告)	
2月18日	修了式	

〔成果〕

- 研究員の課題を基に学校と連携して研究を進め、より実践的な教育研究とすることができた。
- 研究員同士の演習・協議を行うことにより、研究員相互の意見交換の充実につながり、研究が深まった。また、自身の研究だけでなく、他の研究員の研究内容に触れたり、学校経営に関する演習を行ったりする中で、教員としての視野を広げることができた。
- 研究成果発表会では、発表内容のDVDや資料を各校に送付し、特別研修研究員の研究の成果を幅広く伝えることができた。

〔課題〕

- 学校に必要とされる研修を実施するため、学校現場の声を取り入れながら、学校と連携した研修の在り方を探っていく必要がある。
- 人材育成等の視点から、研修内容をさらに充実させたり、研修方法を工夫したりする必要がある。

4 その他の業務に関すること

(1) 人権教育事業に関すること

- ・ 初任者研修 (8/4) 講義「人権問題から学ぶ」
講師 総合教育プラザ教育研修センター指導主事
- ・ 人権教育研修 (9/4) 講義「人権に関する重要課題の取組」
講師 総合教育プラザ教育研修センター指導主事
- ・ 人権教育授業研修 (11/19)
特別の教科 道徳 「広い心」 指導者 桃木小学校 三好 麻子 教諭
- ・ 人権教育推進状況調査 1月下旬実施

[成果]

- 人権に関する重要課題に対する取組の充実に向け、人権教育研修や初任者研修など研修の機会を設定し、同和問題や子供に関する人権問題、性的マイノリティについての理解を深めることができた。参加者から「常時指導の大切さが分かった」「自らの人権感覚も磨きながら指導に当たりたい」等の声が聞かれた。
- 人権教育授業研修では、桃木小学校において、道徳の授業を行った。受講者が参集しての研修はできなかったが、授業研究の内容と学校における人権教育の進め方について、紙面発表を行い、人権教育主任に各校・園において自己研修を実施していただいた。各校・園の人権教育に関わる取組については、アンケートにより集約したものを送付し、情報提供とした。
- 毎月の校長会議において、人権教育教材 (DVD) の情報を提供した。

[課題]

- 学校における人権教育の活性化を図るため、人権教育主任会や各研修等の機会に、各学校における重要課題に対する具体的な取組例や年間計画の活用例などを紹介したり、研修内容を教職員に広める方法を検討したりしていきたい。

(2) 学校評価事業に関すること

- 研修の実施 ◇学校評価システム研修会 (6/4) 希望者参加 ※9/15、10/2 は、中止
◇新任教務主任研修 (8/21) 「学校運営への学校評価の活かし方」
◇特別研修 (11/26) 「学校づくりと学校評価」

[成果]

- 研修会の中止に伴う対応として、各校における学校評価データ処理システムの運用を円滑に進められるよう、システムの運用マニュアルについての動画を作成し、C4 t h 書庫へ掲載した。

[課題]

- 各学校において学校評価の結果を効果的に生かし、組織的・継続的に学校運営の改善を図ることができるよう、継続して研修等の機会を周知を図る。

令和元年度 学校評価アンケートの結果について

総合教育プラザ 教育研修センター

令和元年度の各小中学校の学校評価アンケートの結果を集計し、本市全体の傾向をまとめました。アンケートは、「まえばし学校教育充実指針」の共通項目（32項目）に対応しています。

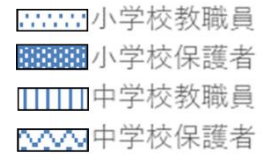
【令和元年度 教職員、保護者ニーズ度、児童・生徒実現度 共通項目 結果一覧】

柱	重点項目	番号	評価項目 (各項目は充実指針の各内容と対応)	小学校			中学校			
				教職員	保護者	児童	教職員	保護者	生徒	
				ニーズ度	実現度	ニーズ度	実現度			
1 学校力を高める学校経営	【1】一人一人がチームの一員として参画する学校づくり	1	充実指針を生かした学校課題の解決に向けた取組	17.7			18			
		2	実効性の高い学校評価と学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実践	18	15.7		18.3	16.8		
		3	学校課題の解決に向けたチーム学校としての指導体制の構築と取組の推進	18.1			18.8			
	【2】学校間の連携と家庭・地域の教育力を生かした学校づくり	4	保幼小中のつながりを大切にされた教育活動の推進	18.6			20.3			
		5	保護者や地域住民との協働による学校運営の仕組みづくりの推進	15.9	13.8		17.1	15.4		
		6	PTA や地域の組織を生かした教育活動の推進	15.3	13		16	14.0		
		7	地域行事への参加や交流活動の推進	15.1	13.8	5.2	13.4	14.8	4.4	
	【3】ニーズに応じた校内体制づくりの工夫	8	一人一人を大切にされた特別支援教育の充実	16.1	18.3		16.5	19.2		
		9	組織的な生徒指導の充実	17	20.8	6.3	17.7	21.8	5.7	
	【4】教職員の資質・能力の向上	10	実践的な指導力・経営力を高める校外の研修機会の活用	18.3			19.4			
		11	指導力の向上を目指した校内の研修の充実	15.5			17.1			
		12	学年学級経営案・教科経営案・自己申告書等を生かした自己研修の推進	17.1			17.4			
	【5】安全・安心な学校づくりの徹底	13	学校の安全管理・環境衛生管理体制の充実	16.9	17.6		17.3	17.9		
		14	関係諸機関と連携した危機管理体制の充実	17.3	15.6	6.4	16.6	17	5.9	
2 魅力あふれる教育活動	【6】学び続ける力の育成	15	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の推進	20.2	17.4	5.5	19.5	18.6	5.1	
		16	学びの質を高めるICT活用の推進	17.4	19.1	6.3	18	19.5	5.9	
		17	体験活動を重視した学習の推進	17.4	16.4	6	18.6	18.3	5.7	
		18	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習の工夫	17.7	17.6	5.9	18.1	19.2	5.3	
		19	学校図書館を計画的に活用した授業の推進	16.8	15.4	5.6	21.2	18.9	3.5	
		20	コミュニケーションを図る楽しさを大切にする外国語教育の充実	15.3	18.9	6				
	【7】豊かな人間性の育成	21	生き方の自覚を深める道徳教育の推進	17.6	17.6	5.9	17.4	18.6	5.7	
		22	自他の大切さを認め合える人権教育の推進	18.2	17.9	6.3	18.9	18.9	6	
		23	あたたかな人間関係を築く体験活動の充実	17.9	17.9	6.6	19.5	18.6	6	
		24	自然を愛し、自然を守る心を育む教育の推進	19.2	17.1	5.8	21.1	18.9	5	
		25	地域の偉人や歴史、自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動の推進	18	15.4		21.1	17.3		
		26	集団や社会の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導の充実	19.1	17.1	5.9	18.5	17.7	5.8	
	【8】健康増進・体力の向上	27	運動好きな子供を育てる体力づくりの推進	16.4	15.6	6	17.1	16	5.5	
		28	基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する能力の育成	19.8	17.3	5.4	20.5	18.3	4.9	
		29	食に関心をもち、健康な生活を実現する態度の育成	18.9	17	5.1	21.4	18	5.2	
	【9】自立性・社会性の育成	30	自立性や社会性を育てるキャリア教育の推進	20.4	19.5	5.6	19.2	20.2	5	
		31	自治的な能力を高める学級活動、児童会・生徒会活動の推進	18.3	16.1	5.4	18.6	16.5	4.6	
		32	自己の役割を自覚し、最後までやり抜く態度を育てる活動の推進	19.1	17.2	6.3	20.2	18.2	6.1	
		平均				17.6	16.9	5.9	18.5	17.9

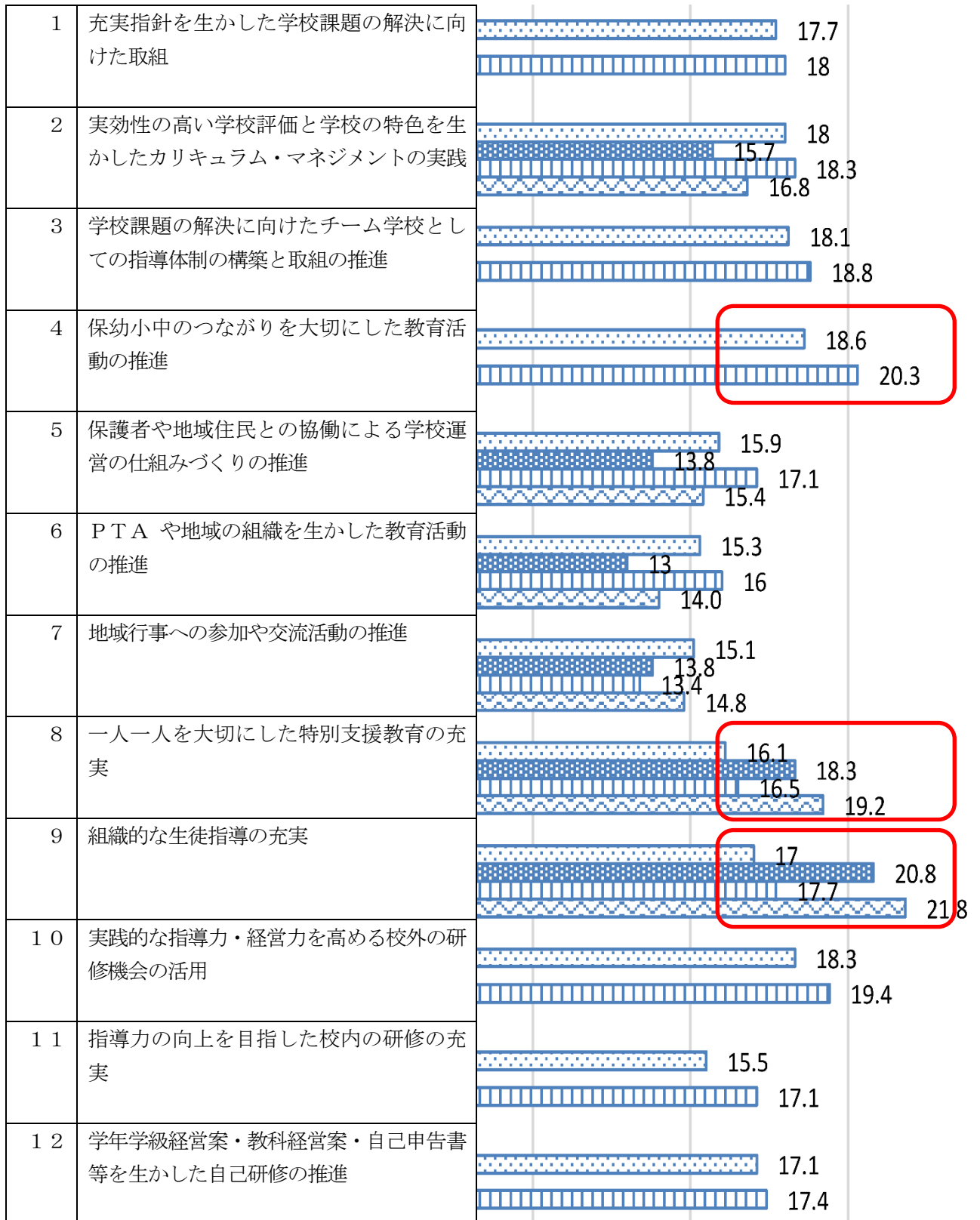
※ 網掛は、20以上の数値

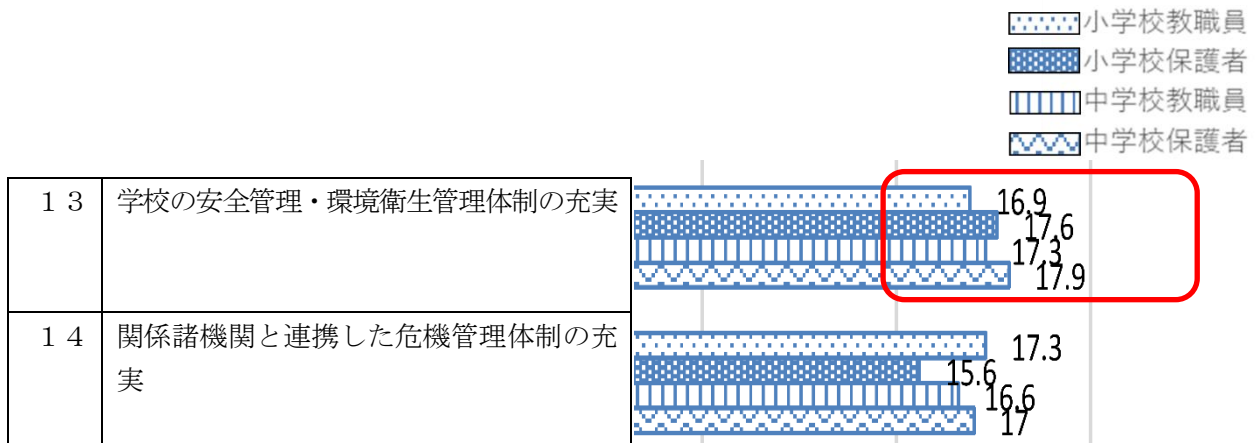
※ニーズ度= 重要度 × (8-実現度) 【重要度と実現度の4段階の回答に対して「7, 5, 3, 1」の得点を配分し、それぞれの平均値を算出し、計算式に適用する】→数値が高いほど、ニーズが高い。

柱別の結果について



【柱 1 学校力を高める学校経営】

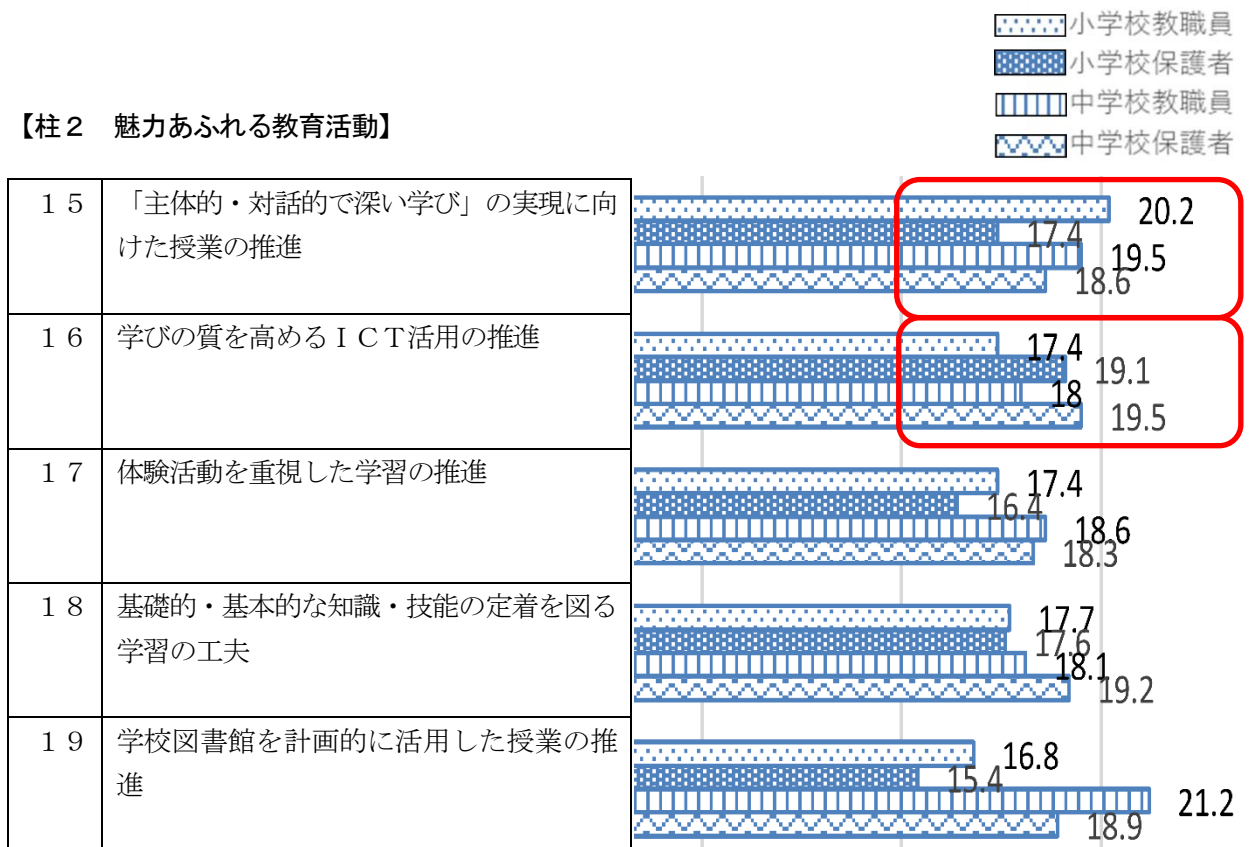


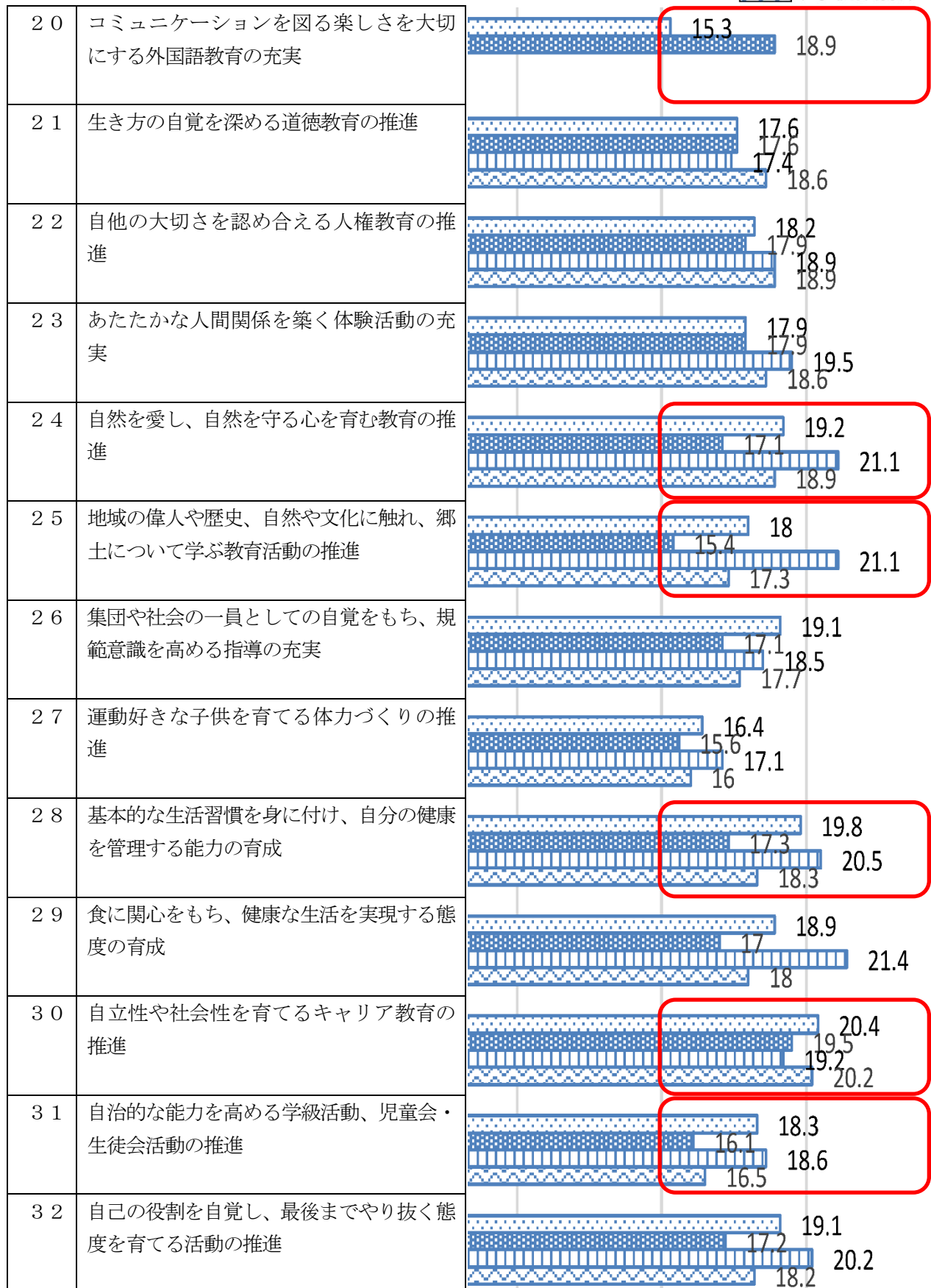
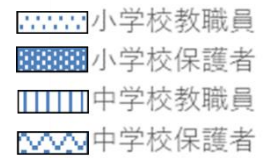


【柱1についての結果】

- 教職員、保護者ともにニーズ度は20ポイント以下の評価項目が多く、全体的に低い傾向にある。
- 評価項目4「保幼小中のつながりを大切にした教育活動の推進」については、中学校教職員のニーズ度は高い。小学校教職員とのニーズ度と1.7ポイントの差があるが、前年度に比べこの差は小さくなっている。
- 評価項目7「地域行事への参加や交流活動の推進」については、児童生徒の実現度が前年度に引き続き低い傾向にある。
- 評価項目8「一人一人を大切にした特別支援教育の充実」、評価項目9「組織的な生徒指導の充実」及び評価項目13「学校の安全管理・環境衛生管理体制の充実」については、前年に引き続き、小・中学校ともに保護者のニーズ度が教職員のニーズ度を上回っている。

【柱2 魅力あふれる教育活動】





【柱2についての結果】

- 中学校の教職員のニーズ度が20ポイント以上の評価項目が6項目あり、前年度より3項目増えている。
- 評価項目15「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業の推進」については、前年度に引き続き、小中学校ともに教職員のニーズ度が高い傾向にある。
- 評価項目16「学びの質を高めるICT活用の推進」について、小中学校ともに教職員のニーズ度より保護者のニーズ度が高くなっている。また、評価項目20「コミュニケーションを図る楽しさを大切にす外国語教育の充実」については、小学校の教職員のニーズ度より保護者のニーズ度が3ポイント以上高くなっている。
- 評価項目24「自然を愛し、自然を守る心を育む教育の推進」、評価項目25「地域の偉人や歴史、自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動の推進」、評価項目28「基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する能力の育成」及び評価項目31「自治的な能力を高める学級活動、児童会・生徒会活動の推進」について、小中学校ともに保護者のニーズ度より教職員のニーズ度が2ポイント以上高くなっている。
- 評価項目29「食に関心をもち、健康な生活を実現する態度の育成」について、児童の実現度が最も低く、評価項目19「学校図書館を計画的に活用した授業の推進」について、生徒の実現度が最も低くなっている。
- 評価項目30「自立性や社会性を育てるキャリア教育の推進」については、小学校の教職員のニーズ度が高くなっている。

(3) 研究や授業に関わる学習指導案の収集・整理

令和2年度に実践した前橋長期研修、前橋特別研修で実践した学習指導案について収集し、校種別に整理した。

〔成果〕

- 新しい指導案の様式による「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組んでいる実践の学習指導案を収集し、C4thの書庫にアップロードすることができた。

〔課題〕

- 収集した学習指導案を校内研修や研究の資料として活用できるよう、各種研修会で紹介するなど、周知を図る必要がある。

(4) 教育研究所連盟関係事業

【群馬県教育研究所連盟に関すること】

- ・令和2年度 春季研修会 5/29 中止
- ・令和2年度 冬季研修会 1/20 中止
- ・令和2年度 連盟双書 第146集 原稿執筆

執筆者 前橋市立時沢小学校 菅沼 由佳 教諭

主 題 国語科「読むこと」において考えを形成できる児童の育成

執筆者 前橋市総合教育プラザ 教育研修センター 福島 裕美 指導主事

主 題 学び続ける教師を育む支援